

中国語形容詞の重ね型について

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 明治大学教養論集刊行会 公開日: 2012-05-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 守屋, 宏則 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10291/12221

中国語形容詞の重ね型について

守屋 宏 則

0 前言

第二外国語（或いは一般語学）の教室で中国語の初級を教える場合、動詞の重ね型については必ずと言ってよいほど説明する。例えば、重ね型の表す意味はこうこうだとか、二音節の動詞はA B A B型になるとかなど。またたいていのテキストもそういうことを文法事項にとりあげている。ところが形容詞の重ね型についてはあまり力点をおいて説明することがないように思われる。少なくとも筆者自身はあまりくわしく説明していない。初級のテキストはいわゆる教育的配慮が十分になさされていて、それでテキストの本文中にはあまり現れないのかもしれない。しかし中級に進んで、例えば文学作品の訳読などをすると、形容詞の重ね型が一つや二つは必ず出てくるが、その時もせいぜい形容詞の重ね型は強調の意味を表すとか、“好好儿”は hǎohǎor と発音するとか、二音節の重ね型はA A B B型であるとか、そのくらいのことしか説明しない。しかしこれではいけない。このごろは中級のテキストも文法の要点や練習問題がついたものが出てきているので、教える側もある程度のレベルの内容を教えるためにはもう少し知識を整理しておく必要があるだろう。

1 形容詞の重ね型の特徴

まず代表的なテキストの説明を見てみよう。『基礎漢語課本』、『实用漢語課本』

の説明はおおむね次のようである。

『基礎漢語課本』は「一部の形容詞は重ね型になれば、重ね型になるとふつうは表す性質、状態の程度が深まる。単音節形容詞の重ね型は、口語では第二音節がしばしば第一声に変わり、さらにr化する。二音節形容詞の重ね型は音節が単位となり、AABB式に重ね型となり、ストレスは第四音節にある。単音節形容詞の重ね型は状語になり、構造助詞“地”はあってもなくてもよいが、二音節のものはふつう“地”を必要とする。」と言う。¹⁾

『实用漢語課本』は「一部の形容詞は重ね型になれる。単音節形容詞は、口語では第二音節はしばしば第一声に変わり、さらにr化する。二音節形容詞の重ね型の方式はAABB式で、ストレスは第四音節におかれる。形容詞は重ね型になるとよく状語になり、性質の程度が深まることを表す。単音節形容詞が重ね型になって状語になる場合、構造助詞“地”を加えなくてもよいが、二音節形容詞が重ね型になるとふつう“地”を加える必要がある。重ね型になった形容詞は補語または定語になり、より深い描写の意味をもち、さらに好感を抱く、ほめたたえるなどの感情的色彩をもつこともある。形容詞が重ね型になって定語になる場合、ふつう“的”を用いなければならない。注意せよ：どんな形容詞もすべて重ね型になれるわけではない。例えば“错错”，“聪聪明明”，“热热烈烈”とは言えない。」と言う。²⁾

次に代表的な文法書を見てみると、いくつかの重要な説明がある。

まず朱德熙『語法講義』には形容詞の重ね型に関して次のようなことが述べられている。「単音節形容詞、二音節形容詞の重ね型は状態形容詞である。定語になる場合、状語になる場合とも名詞との組み合わせにおいて、形容詞の原型のように制限を受けない。述語になる場合、重ね型は『暫時的变化』を表し、『動態的』である。状態補語になる場合、“飞得高高的”のような表現は『描写』であり、『動態的』であり、『量の概念』を含む。」³⁾ここで「述語になる場合、重ね型は『暫時的变化』を表し…」と述べられている点に注意しておきたい。

次に劉月華等『实用現代漢語語法』には以下のような説明がなされている。

「単音節形容詞の重ね型は状語、補語となり、『程度が深い』ことを表す。定語になる場合、ふつう『程度が深い』ことを表さず、描写作用が強まる。さらに『好感のニュアンス』を含む。二音節形容詞の重ね型は状語、補語となり、やはり『程度が深い』ことを表す。定語になる場合は描写作用が強まり、程度を表す作用は明瞭ではない。」⁴⁾

ここで注意しておきたいことが二つある。一つは形容詞の重ね型は述語、定語、補語、状語になりうる能力をそなえていること⁵⁾、もう一つは状語、補語になる場合に表す意味と、定語になる場合に表す意味とでは違いがあることである。

以上からだけでもわかるように、形容詞の重ね型は実に複雑である。問題点の一部は守屋(1989)(以下前稿と略す)でも指摘しておいたが、より詳細な検討が必要とされるのは次の諸点であろう。

(1)単音節形容詞の重ね型が、どのような場合に接尾辞“的”を必要とするか。

(2)二音節形容詞の重ね型が状語になる時、どのような場合に構造助詞“地”を必要とするか。

(3)形容詞の重ね型は文中における位置によってどのような意味の違いを生ずるか。

(4)文中における位置が重ね型になれるかなれないかに対してどう影響するか。

これらが明らかになれば学習者にとっても大きな助けになるはずであり、いずれ順を追って調査、考察を進めるつもりでいるが、小稿はとりあえず次節で述べるように前稿で書き残した点にしぼって報告したい。

2 重ね型になれる形容詞、なれない形容詞

従来の研究によってすでに明らかにされているように、すべての形容詞が重ね型になるわけではなく、一部の形容詞は重ね型になれない。どの形容詞が重

ね型になれ、どの形容詞が重ね型になれないかは、中国語教育の見地からもぜひ明らかにしておきたい問題である(以下、重ね型の可不可と記す)。先行の研究としては湯廷池、李大忠、卞覚非らによって一定の成果が挙げられている。⁶⁾ また『現代漢語八百詞』にも重要な資料が示されている。⁷⁾ 湯廷池論文は単音節形容詞と二音節形容詞のそれぞれについて重ね型の可不可のルールを探ったものであり、李大忠論文は『現代漢語詞典』に収められている二音節形容詞について調査し、重ね型になれない1,438語、重ね型になれる300語を一覧表にして示した労作である。また卞覚非論文は主として語構成法上の特徴から重ね型になれない二音節形容詞の特徴を探ったものである。

しかし前稿で述べたように湯廷池論文にも李大忠論文にも『現代漢語八百詞』にもさらに検討を要する若干の問題が含まれている。前稿では二音節形容詞に限定して考察を行ったが、小稿では単音節形容詞も含めて考察を進める。

2.1 単音節形容詞の重ね型の可不可

単音節形容詞の重ね型の可不可について、われわれがまず参照すべきは次の3種の資料である。

(1)『現代漢語八百詞』(以下<八>と略す)の巻末の表一：この表には重ね型になれる133語の単音節形容詞が一覧表で示されており、さらにAA式の重ね型になるのか、接尾辞“的”を伴ったAA式的重ね型になるのかということもわかるようになってきている。『現代漢語八百詞』も百パーセント正しいというわけではないが、この資料はわれわれにとってきわめて有用であり、かつ信頼度の高いものであると言ってよいだろう。含まれている問題点については後述する。

(2)香坂順一編著『現代中国語辞典』(光生館)(以下<光>と略す)：この辞典では親文字として挙げられている単音節形容詞のうち、重ね型になれるものは(量)で示されている。われわれにとっても学習者にとっても有用かつ便利であるけれども、明らかに重ね型になれると思われるものに(量)がなかったりする場合が少なくなく、(量)の有る無しの基準がはっきりしない。また中には親

文字に(疊)がなく、“AA的”が見出し語に立てられているものもあり、その基準もまた明らかでない。

(3)湯廷池「国語形容詞的重疊規律」(以下〈湯〉と略す)：先にも挙げたこの論文は学習者が容易に見られるものではないが、この問題に関する最も精密で優れた資料である。惜しむらくは、インフォーマントが香港の中国語教師であるために普通話の話し手の語感と一致しない点が少ないなど、異論をさしはさむ余地を残しているということである。

以上の3種の資料について小稿で検討を行うポイントは次の二つである。第一は重ね型になれるかどうかについて3種の資料の判定の異同を明らかにすること、第二は判定が一致しないものについて個別に調査、分析を行うことである。

まず〈八〉の表一を利用して判定の異同を一覧表にして示す(表一)。

表一

注：〈八〉‘+’はその形式があることを示し、空白はないことを示す。

〈光〉‘+’は(疊)があることを示し、空白はないことを示す。

〈湯〉‘+’は重ね型が可であることを示し、‘-’は不可であることを示し、

空白はとりあげていないことを示す。△は後のコメントを参照。

		〈八〉		〈光〉	〈湯〉
		AA	AA的		
①	棒		+	+	-
②	薄		+		+
③	饱		+	+	
④	扁		+		+
⑤	糙		+		
⑥	长		+		+
⑦	潮		+		

		〈八〉		〈光〉	〈湯〉
		AA	AA的		
⑧	稠		+		
⑨	臭		+		+
⑩	纯		+		
⑪	蠢		+		△
⑫	粗	+	+		+
⑬	脆		+		+
⑭	淡	+	+	+	+

		〈八〉		〈光〉	〈湯〉
		AA	AA的		
⑮	毒		+		
⑯	短	+	+		
⑰	多	+	+	+	△
⑱	粉		+		
⑲	光		+	+	
⑳	狠	+	+	+	△
㉑	灰		+		
㉒	活	+	+	+	
㉓	僵		+		
㉔	近		+		
㉕	空		+	+	△
㉖	苦	+	+	+	+
㉗	快	+	+	+	△
㉘	烂		+		
㉙	老				△
㉚	乱		+		
㉛	满	+	+		
㉜	美		+		△

		〈八〉		〈光〉	〈湯〉
		AA	AA的		
③③	闷		+		△
③④	难				△
③⑤	蔫			+	
③⑥	浅		+		△
③⑦	轻	+	+	+	△
③⑧	傻				+
③⑨	生		+	+	
④⑩	秃		+		
④⑪	晚		+		△
④⑫	微	+	+	+	
④⑬	斜				+
④⑭	严		+	+	
④⑮	阴			+	
④⑯	真	+	+		△
④⑰	整	+	+	+	
④⑱	正		+		△
④⑲	重		+	+	△

次に判定の異同について個々に見てゆく。例のチェックは2人の中国人（1人は北京人，1人は上海人）の方に依頼した。以下，インフォーマントをIFと略記する。

①棒：〈湯〉は不可だが，“这小伙子棒棒的，……”，“棒棒的小伙子”，“把身体养得棒棒的，……”と言えるようだ。

②薄：〈光〉は無印だが，“切得薄薄的鱼片儿”と言えるようだ。

③饱：〈湯〉はとりあげていないが，“吃得饱饱的”，“谷粒长得饱饱的”などと言えるようだ。

④扁：〈光〉は無印だが、“压得扁扁的”と言えるようだ。

⑤糙：〈八〉のみが可。用例未見。

⑥长：〈光〉は無印だが、“这条街长长的，……”などと言えるようだ。但し“长”については、Li & Thompsonは“changchang”に??を付しており、⁸⁾ それに対して湯廷池は“漢語語法認為形容詞‘長’也不能重疊。但是一般說國語的人並不同意他們看法，認為‘長長的尾巴’這種重疊是可以接受的。”と反論している。⁹⁾

⑦潮：〈八〉のみが可だが、“这屋子潮潮的，……”と言えるようだ。

⑧稠：〈八〉のみが可だが、“这粥稠稠的，……”と言えるようだ。

⑨臭：〈光〉は無印だが、“放了个臭臭的屁”と言えるようだ。

⑩纯：〈八〉のみが可。用例未見。

⑪蠢：〈八〉は可、〈光〉は無印。〈湯〉は“表示不能全靠視覚，味覚，嗅覚，觸覚，聴覚来辨認的属性的形容詞大都不能重疊”と述べ、「時間」，「年齢」，「新旧」，「距離」，「速度」，「重量」，「数量」，「主観的判断」を表す形容詞を多数列举している。¹⁰⁾ 以下，便宜上これらを不可リストと呼ぶ。“蠢”は不可リストに含まれている。“他长得蠢蠢的，怪难看的。”について1人のIFはまったく自然であるとし，1人のIFは子供についてならいえるとした。

⑫粗：〈光〉のみ無印。“他说话粗粗的，……”と言えるようだ。

⑬脆：〈光〉のみ無印。“脆脆的噪音”と言えるようだ。

⑭淡：〈光〉には①～⑤までの語釈があるが，そのうち「③冷淡である，ひやかかである」にのみ（疊）がある。しかし“淡淡的味儿”と言えるようだ。

⑮毒：〈八〉のみが可。“那个人手段毒毒的，心肠辣辣的。”と言えるようだ。

⑯短：〈光〉が無印なのは理解に苦しむ。ただ不思議なことに〈湯〉も“短”をとりあげていない。しかし“短”が重ね型になれることは例を挙げるまでもないだろう。

⑰多：〈湯〉は不可リストに挙げているが，“多多(的)指教”は言えるとする。〈光〉には「④〔副〕6）依頼あるいは感謝の意を表すとき婉曲あるいは強

調の語気を添える」にのみ(疊)がある。しかし「多い」という意味でも“吃的多多的”と言えるようだ。

⑱粉：〈八〉のみ可。1人のIFは「ピンク色の」という意味の“粉”は“桃子颜色粉粉的，很可爱。”と言えるとしながらも一般的ではないと言う。

⑲光：〈光〉は「⑨〔副〕ただ…だけ」にのみ(疊)がある。また〈湯〉はとりあげていない。しかし「つやがある，すべすべしている」の意味でも“这种纸光光的，……”と言えるようだ。

⑳狼：〈八〉は可。〈光〉は親文字のところでは「③〔副〕ひどく，荒々しく，きびしく」と「④〔副〕決然として，あくまでも」に(疊)があり，さらに“狼狼(的)”を見出し語にたてている。〈湯〉は不可リストに含めている。しかし“他的心狠狠的，……”と言えるようだ。

㉑灰：〈八〉のみが可だが，“颜色灰灰的”，“天色灰灰的，要下雨了。”と言えるようだ。

㉒活：〈八〉は可，〈湯〉はとりあげず。〈光〉は「②〔副〕生きたままで，むざむざ」にのみ(疊)があり，しかも“活活(儿)”を見出し語にたてている。1人のIFは口語では動物や植物について“刚才还活活的，怎么现在就死了？”のように言えるとするが，「むざむざ，あたら」の意味で“活活(儿)”となるほかにも重ね型になるかどうかはさらに検討が必要だろう。

㉓僵：〈八〉のみが可。用例未見。

㉔近：〈八〉のみが可だが，“近近地靠在一起”と言えるようだ。

㉕空：〈八〉は可だが，kōngについてなのか，kòngについてなのか，或いは両方についてなのか明らかではない。〈湯〉は“空 kòng”を不可リストに含めている。〈光〉は“空 kōng”「②〔副〕むなしく，むだに」に(疊)があるのみである。しかし次のようにも言えるようだ。

kōng：盒子里空空的，……

kòng：空空的院子里一个人也没有。

㉖苦：〈八〉，〈湯〉は可。〈光〉は「⑤〔副〕辛棒強く，一生懸命に」にのみ

(疊)があり、さらに“苦苦”(しきりに、ひたむきに、辛抱強く)を見出し語にたてている。しかし「苦い」という意味の“苦”は重ね型になれるようで、例えば“这药苦苦的，……”と言えるようだ。だが、「苦しい、辛い」の“苦”は不可(もしくはなりにくい)のようで、例えば“这项工作苦苦的，……”は1人のIFはなんとか言える、もう1人のIFは??という反応であった。

⑳快:〈八〉は可。〈湯〉は不可リストに含めている。〈光〉は「①〔形〕速い、スピードがある」に(疊)がある。“快”には「刃物がよく切れる」という意味もあるが、こちらはIFの印象によれば重ね型になりにくいようだ。先にもふれた“粉”，“苦”のように複数の意味をもつ形容詞の重ね型の可不可については、単に可、不可を記すだけでは不足であって、意味ごとに可、不可を検討してより詳細な性質を記すことが望まれる。

㉑烂:〈八〉は可、〈湯〉はとりあげず、〈光〉は無印。“烂烂的衣服”，“米粥熬得烂烂的”と言えるようだ。

㉒老:〈八〉は不可、〈光〉は無印、〈湯〉は不可リストに含める。しかし“他年纪不大，可长得老老的。”と言えるようなのでさらに検討を要する。

㉓乱:〈八〉は可、〈湯〉はとりあげず、〈光〉は無印。“屋里乱乱的，……”，“他话说得乱乱的，……”と言えるようなのでこれもさらに検討が必要だろう。

㉔满:上に同じ。“他一仰头，吞进满满一杯酒。”と言えるようだ。

㉕美:〈八〉は可、〈湯〉は不可リストに含め、〈光〉は無印。〈湯〉の言うように状語用法だが、“她美美地饱餐了一顿，……”と言えるようだ。

㉖闷:〈八〉は可だが、先に述べた“空”と同じように mēn, mèn の二つのどちらを想定しているのか明らかでない。〈湯〉は不可リストに含め、〈光〉は無印。だが次のように言えるようだ。

mēn:天闷闷的，要下雨。

mèn:他的样子显得闷闷的。

心里闷闷地不乐，……

③④ 难：〈八〉は不可，〈湯〉は不可リストに含め，〈光〉は無印。だがIFの1人は「题目难难的」と言えるとしており，検討を要する。

③⑤ 薦：〈八〉は不可，〈湯〉はとりあげず。〈光〉は「④〔形〕（態度が）はっきりしない」に（畳）があり，さらに“薦薦儿(的)”を見出し語にたてている。さらに検討が必要だろう。

③⑥ 浅：〈八〉は可。〈湯〉は“？湖水浅浅的”，“？浅浅的湖水”，“浅浅的草绿色”という例を掲げているところからみて「浅い」の“浅”は重ね型不可，「色が薄い」の“浅”は重ね型可と判定しているらしい。〈八〉はこの点が明らかでない。〈光〉は無印。またIFの1人は“河水浅浅的”と言えらるることを付記しておく。

③⑦ 轻：〈八〉は可。〈湯〉は「重量」を表す“轻”は不可とし，さらに「形容詞“重”と“轻”は重ね型になって“声音”を描写することができるが，“重量”は描写できない。比較せよ：“重重的／轻轻的脚步声 ？重重的／轻轻的行李”と述べている。¹¹⁾〈光〉は「①〔形〕軽い②〔形〕数量が少ない，年が若い④〔形〕軽快である⑥〔形〕あまり力を加えない」に（畳）がある。さらに検討を要する。

③⑧ 傻：〈八〉は不可だが，〈湯〉は主観的判断を表す形容詞のうちで例外的に重ね型になれるものとして“这个人傻傻的。”の例を挙げている。¹²⁾〈光〉は無印。IFによれば“样子显得傻傻的”と言えらるるらしいが確かでない。

③⑨ 生：〈八〉は可，〈湯〉はとりあげず。〈光〉は「⑩〔副〕かたくなに，無理やり，強引に」のみに（畳）があり，さらに“生生(儿)(的)”を見出し語にたてられている。さらに検討が必要だろう。

④⑩ 秃：〈八〉は可，〈湯〉はとりあげず，〈光〉は無印。“他头顶秃秃的，……”，“笔尖写得秃秃的”と言えらるるようだ。

④⑪ 晚：〈八〉は可，〈湯〉は不可リストに含め，〈光〉は無印。IFの1人は“每天晚晚地才睡”，“起得晚晚的”と言えらるるが，さらに検討を要する。

④⑫ 微：〈八〉は可，〈湯〉はとりあげず。〈光〉は（畳）があり，さらに“微微”

を見出し語にたてている。しかし“微”はきわめて独立性が低いことから考えて、形容詞としてはとりあげないのが適当だろう。

④斜：〈八〉は不可，〈湯〉は可，〈光〉は無印。“夕阳斜斜地照了过来”と言えるようだ。

④严：〈八〉は可，〈湯〉も可。〈光〉は親文字の語釈では無印だが，“严严(的)”を見出し語にたてている。

④阴：〈八〉は不可，〈湯〉はとりあげず。〈光〉は「②〔形〕曇っている」に(畳)がある。“天阴阴的”，“阴阴的天”と言えるようだ。

④真：〈八〉は可，〈湯〉は不可リストに含め，〈光〉は無印。「真実だ」という意味の“真”は重ね型不可だが，“はっきりしている，明らかである”の“真”は重ね型になって“我听得真真的。”と言えるようだ。〈八〉が可とするのは後者の意味においてだろうか。

④整：〈八〉は可，〈湯〉はとりあげず。〈光〉は無印だが，“整整”を見出し語にたてている。

④正：〈八〉は可，〈湯〉は不可リストに含め，〈光〉は無印。IFの1人は“他站得正正的。”と言えるとするがどうだろうか。

④重：〈八〉は可。〈湯〉は重量を表す“重”は不可リストに含めるが，先に“軽”のところでもふれたように“重重的脚步声”では言えるとしている。〈光〉は「①〔形〕重い ③〔形〕程度が並でない。はなはだしい」に(畳)がある。なおIFによれば“重重的行李”とも言えるようだ。

2.2 二音節形容詞の重ね型の可不可

二音節形容詞の重ね型の可不可について参照すべき資料は次の3種である。

(1) 〈八〉巻末の表三：AABB型(A里AB型を含む)の重ね型になれるもの232語をリストアップしてある。

(2) 李大忠「不能重叠的双音節形容詞」(以下〈李〉と略す)：重ね型になれるもの1,438語を付録一に，重ね型になれるもの300語を付録二にリストアップ

してある。

(3)〈光〉：AABB型になれるものには(疊)が、A里AB型になれるものには(疊)がある。

しかしながら以下に述べるように可不可の判定に相当の異同がみられる。二音節形容詞の場合、前稿で述べたような要因によって生ずる可不可の判定のゆれはかなり大きく、今回の調査で依頼した3人のIFによる印象にも個人差が顕著に現れた。上記3種の資料の判定が一致しない二音節形容詞について、それらの異同、及び3人のIFによる判定結果を一覧表にして次に示す(表二)。さらに紙幅の制限により表に掲げたすべてについてコメントすることはできないが、必要と思われるものをピックアップして説明を加える。

表二

注：〈八〉‘+’はAABBの形式があることを示す。

〈光〉‘+’は(疊)があることを示す。‘-’は(疊)がないことを示す。

〈湯〉‘+’は重ね型可, ‘-’は重ね型不可であることを示す。

1は北京人(女性), 2は北京人(女性), 3は上海人(男性)のインフォ
ーマント

	八	光	李	1	2	3	
暗暗淡淡	+	-	+	+	-	?	
① 呆呆板板		-	+	+	?	-	
安安分分	+	-	+	+	+	+	
安安宁宁		-	+	+	+	+	
安安全全		-	+	+	+	?	
安安然然		+	-	-	+	-	
安安祥祥		+	-	-	+	-	
② {	安安心心		+	-	+	?	-
	安安逸逸		+	-	-	+	?

	八	光	李	1	2	3
白白净净	+	-	+	+	+	+
③ 本本分分		+	-	+	+	-
④ 笨笨重重		+	-	-	-	-
笨笨拙拙		+	-	+	?	-
⑤ 笔笔挺挺		-	-	-	-	-
便便当当		-	+	+	+	+
惨惨淡淡		-	+	?	+	-
仓仓卒卒		+	-	-	+	-
苍苍凉凉		-	+	-	?	-

	八	光	李	1	2	3
⑥ 草草率率	-	+	-	?	-	
⑥ 彻彻底底	-	-	+	+	+	
⑥ 诚诚实实	-	+	-	?	-	
⑥ 痴痴呆呆	-	+	+	+	-	
⑥ 迟迟钝钝	+	-	-	-	-	
⑦ {	充充裕裕	+	-	+	-	-
	稠稠密密	+	-	+	-	-
⑦ {	纯纯粹粹	+	-	+	-	?
⑦ {	粗粗糙糙	+	+	+	-	?
⑦ {	粗粗鲁鲁	+	-	-	?	-
⑦ {	粗粗实实	+	-	+	+	+
⑦ {	粗粗壮壮	+	-	+	+	+
⑦ {	动动荡荡	-	+	-	?	-
⑧ {	繁繁华华	+	-	-	?	-
	放放心心	+	-	-	?	-
⑧ {	肥肥美美	+	-	-	+	-
⑧ {	肥肥壮壮	+	-	+	+	+
⑧ {	纷纷乱乱	+	-	-	+	-
⑨ 丰丰富富	+	-	-	+	-	
⑩ {	丰丰满满	-	-	-	?	-
	丰丰美美	+	-	-	+	-
	丰丰盈盈	+	-	-	+	-
	丰丰裕裕	+	-	-	+	?
	丰丰足足	+	-	-	+	-
	风风凉凉	+	-	+	?	-
	锋锋利利	+	-	-	?	-
浮浮华华	+	-	-	-	-	

	八	光	李	1	2	3
⑪ 复复杂杂	+	-	?	?	-	
⑫ {	富富泰泰	+	-	+	-	?
	富富态态					
⑫ {	干干瘪瘪	+	-	+	+	-
⑫ {	高高大大	+	-	+	+	+
⑫ {	公公道道		-	+	?	+
⑫ {	公公平平	+	-	+	?	+
⑬ 含含混混		-	+	+	+	?
⑬ 寒寒酸酸	+	-	+	-	?	-
⑬ 合合适适		+	-	+	-	-
⑭ {	和和蔼蔼	+	-	+	-	-
	和和睦睦	+	-	+	+	+
⑭ {	和和善善	+	-	-	+	-
⑭ {	和和谐谐		+	-	+	+
⑭ {	厚厚道道	+	-	+	-	?
⑭ {	华华丽丽	+	-	-	-	-
⑭ {	华华美美	-	-	-	?	-
⑭ {	欢欢畅畅	+	-	-	+	+
⑭ {	欢欢腾腾		-	+	-	?
⑮ {	缓缓慢慢	+	-	+	?	?
	荒荒凉凉	+	-	+	-	+
	荒荒唐唐		+	-	-	-
⑮ {	昏昏暗暗		+	-	+	+
⑯ {	活活泛泛		-	+	-	-
	活活泼泼	+	-	+	?	+
	豁豁亮亮	+	-	+	+	+
⑰ 筒筒短短	+	-	-	?	-	

	八	光	李	1	2	3
皎皎洁洁	+	-	-	-	-	-
紧紧凑凑	+	-	+	-	+	-
紧紧迫迫		+	-	-	?	-
⑱ 谨谨慎慎	+	-	+	?	+	-
精精神神	+	-	+	+	+	-
局局促促		+	-	-	+	-
均均匀匀		+	-	+	+	-
⑲ 可可怜怜		-	+	-	-	-
恳恳切切	+	-	+	-	?	-
空空泛泛		+	-	-	+	-
空空旷旷	+	-	+	+	?	?
⑳ 快快当当		+	-	-	+	?
快快活活		-	+	+	+	+
快快乐乐	+	-	+	?	+	+
宽宽敞敞	+	-	+	+	+	+
宽宽敞畅		-	+	-	+	-
阔阔气气		-	+	+	?	-
烂烂胡胡	+	-	+	+	+	-
浪浪荡荡		-	+	+	+	-
牢牢固固		+	-	-	+	-
牢牢靠靠	+	-	+	+	+	+
老老气气		-	+	-	-	-
⑳ 凉凉爽爽		-	-		+	-
寥寥落落		+	-	-	+	-
⑳ 伶伶俐俐	+	-	+	-	?	+
㉓ 麻麻烦烦		+	+	-	-	-
忙忙乱乱		-	+	+	+	-

	八	光	李	1	2	3
毛毛糙糙	+	-	+	+	+	+
毛毛躁躁		-	+	+	+	+
迷迷茫茫		+	-	?	+	?
迷迷惘惘		+	-	-	+	-
腼腼腆腆		-	+	-	?	-
苗苗条条	+	-	+	-	+	+
渺渺茫茫	+	-	+	-	+	+
⑳ 明明亮亮	+	-	+	-	+	-
㉔ 排排场场		-	+	-	-	-
平平庸庸	+	-	+	?	+	+
泼泼刺刺		-	+	-	?	-
凄凄惨惨	+	-	+	+	+	+
凄凄凉凉		-	+	-	+	+
齐齐全全	+	-	+	-	?	+
强强壮壮		-	+	-	?	-
勤勤快快	+	-	+	-	?	?
清清白白	+	-	+	+	+	+
清清晰晰		+	-	?	+	?
⑳ 轻轻巧巧		+	-	+	+	+
轻轻易易	+	-	+	-	+	?
确确凿凿	+	-	+	+	?	
柔柔和和		-	+	-	?	-
⑳ 神神气气		+	-	-	?	-
舒舒畅畅		+	-	-	?	-
舒舒适适		-	-	-	+	+
顺顺利利		+	-	?	+	?
顺顺溜溜	+	-	+	+	+	+

	八	光	李	1	2	3
②8 松松懈懈		+	-	+	+	-
俗俗气气		+	±	-	-	-
肃肃静静		+	-	-	-	-
素素净净	+	-	+	-	+	
酸酸软软		+	-	-	+	-
琐琐碎碎	+	-	+	+	+	
甜甜蜜蜜	+	-	+	+	+	
停停当当		+	-	?	?	-
土土气气		+	-	-	?	-
妥妥实实		+	-	-	?	+
威威武武		+	-	-	+	-
委委屈屈		-	+	-	+	-
温温和和	+	-	+	-	?	-
温温顺顺		-	+	-	+	-
文文静静		-	+	+	+	+
②9 稳稳重重	+	-	+	-	?	-
稀稀疏疏		+	-	+	+	+
③0 细细致致		+	-	-	?	-
鲜鲜亮亮		-	+	-	+	-
闲闲散散		+	-	+	+	-
显显赫赫		+	-	?	?	-
详详尽尽	+	-	+	?	+	+
响响亮亮		-	-	+	+	?
懈懈怠怠		+	-	-	-	-
羞羞怯怯		+	-	?	+	?
羞羞涩涩		+	-	-	+	-
③1 新鲜鲜		-	+	-	?	-

	八	光	李	1	2	3
辛辛苦苦	+	-	+	+	+	+
秀秀气气		-	+	-	?	-
虚虚假假	+	-	+	+	+	+
悬悬乎乎		-	+	+	+	-
牙牙碜碜		+	-	-	-	-
严严密密	+	-	+	-	+	+
洋洋气气		+	-	-	-	-
阴阴沉沉	+	-	+	?	+	-
阴阴森森	+	-	+	-	+	-
硬硬朗朗	+	-	+	+	+	-
③2 拥挤挤		+	-	?	+	-
庸庸俗俗		+	-	-	?	-
忧忧愁愁	+	-	-	?	-	-
忧忧闷闷	+	-	-	?	-	-
悠悠闲闲	+	-	+	+	-	-
悠悠扬扬	+	-	-	?	?	-
油油滑滑		+	-	-	-	-
迂迂腐腐		+	-	-	-	-
③3 {	圆圆滑滑		-	+	-	-
	圆圆全全		-	+	-	-
匀匀称称		-	+	+		+
匀匀和和		-	+	+	+	-
匀匀净净		+	-	-	+	-
匀匀溜溜		-	+	-	+	-
③4 匀匀实实		+	-	+	+	+
匀匀整整		+	-	-	+	-
杂杂乱乱		+	-	-	-	-

	八	光	李	1	2	3
真真切切		+	-	-	+	+
③⑤ 真真正正		+	-	-	-	-
正正当当	+	-	+	+	+	+
③⑥ 正正规规		-	-	?	?	?
忠忠厚厚	+	-	+	-	?	-

	八	光	李	1	2	3
执执拗拗		+	-	-	-	-
仔仔细细	+	-	+	+	+	+
③⑦ 自自然然	+	-	+	-	+	?
自自在在		-	+	+	+	+
拙拙笨笨		+	-	-	?	-

① 呆板：〈光〉は無印，〈李〉は可だが，IFは3人とも不一致。

② 安心，安逸：ともに〈光〉は可。〈李〉は不可だが，IFは3人とも不一致。郭志良は「“安心”が重ね型“安安心心”になって状語になるのはすでに多くの人々の言語習慣になっている」¹³⁾と述べているが，IFは3人とも重ね型を認めていない。郭志良の指摘が正しいとすれば，3人とも状語用法を想起しなかったのかもしれない。

③ 本分：〈光〉は可，〈李〉は不可で，IFは2人が可，1人が不可。『浩然選集』に用例あり。

④ 笨重：〈光〉のみ可，あとはすべて不可。

⑤ 笔挺：すべて不可だが，〈湯〉は例外的に重ね型になれるとしている。¹⁴⁾

⑥ 彻底：〈八〉はなし，〈光〉〈李〉ともに不可だが，IFは3人とも可。¹⁵⁾なお〈湯〉は例外的に重ね型になれて状語として用いられると指摘している。

⑦ 充裕，稠密：ともに〈八〉〈李〉は可，〈光〉は不可，IFは1人が可，2人が不可。

⑧ 繁华，放心：ともに〈光〉は可，〈李〉は不可，IFは2人が不可，1人が？。②で引いた郭志良は「“放心”が重ね型“放放心心”になって状語になるのは少数の人々の言語の中にすでに現れている」と言うが¹⁶⁾，3人のIFの印象は重ね型にはなりにくいようだった。もちろん“安心”と同様に状語用法を想起しなかったのかもしれないが。

⑨ 丰富：〈光〉は可，〈李〉は不可，IFは1人が可で，2人が不可。劉大為に

よれば『紅樓夢』第14回に“丰丰富富”の例があるが、現在では“丰富”は重ね型になる性質を失ってしまっているという。¹⁷⁾

⑩ 丰满：〈八〉はなし、〈光〉〈李〉ともに不可。IFは2人が不可、1人が？だが、張潔『方舟』に用例がある。新しい使われ方か、或いは非普通話的な用法か。上海人の若いインテリであるIFの1人も不可という印象だった。

⑪ 复杂：〈光〉は可、〈李〉は不可、IFは2人が？、1人が不可。“复杂”は李大忠が「中国語を学ぶ外国人留学生の中には“复复杂杂、生动动”のような重ね型を作る者もいる」と誤用の代表のように挙げている形容詞だが、〈光〉が可としているのは興味深い。なお別の北京人の中年のインテリであるIFの語感では“复复杂杂”も“生动动”もまったく問題なく言えるという。

⑫ 富泰(=富态)：〈八〉〈李〉ともに可であるにもかかわらず、IFは2人が不可、1人が？。〈光〉は不可。このように可不可の判定が大きくわかれるものも少なくない。例えば湯廷池は次のような形容詞を挙げている。“荒唐、和諧、慷慨、舒適、涼爽、渺小、小心、乖巧、伶俐、清晰、幽静、明確、慌忙、恐慌、通順、流利、妥当、文雅、穩定、平庸、枯燥、粗魯、遲鈍、平坦、透澈、富泰、高貴、利落”¹⁸⁾

⑬ 含混：〈八〉はなし、〈光〉は不可、〈李〉は可、IFは2人が可、1人が？。後述するように動賓型ものは総じて重ね型になれないのだが、卞覺非は“含糊、含混”などはなれると言う。¹⁹⁾ また湯廷池は“含糊”は例外的に重ね型になれるとするが、“含混”もそうだとは言っていない。²⁰⁾

⑭ 和蔼：〈八〉〈李〉ともに可であるにもかかわらず、〈光〉及び3人のIFはすべて不可。『浩然選集』に用例あり。

⑮ 緩慢：〈八〉〈李〉ともに可であるにもかかわらず、〈光〉は不可、IFは2人が？、1人が不可。

⑯ 活泛：〈李〉のみが可。あとはすべて不可。

⑰ 簡短：〈光〉のみが可。あとは？のIF 1人を除いてすべて不可。

⑱ 謹慎：〈八〉〈李〉は可、〈光〉は不可。IFは3人とも不一致。

⑲ 可怜：〈李〉のみが可，あとはすべて不可。二音節形容詞では語構成の方式が重ね型の可不可と関係していることはすでに明らかであるが，“可怜”のような偏正式二音節形容詞は総じて重ね型になりにくい。例えば湯廷池は「偏正式形容詞は原則として重ね型になりにくい。しかし行為の外観を描写するものは例外的に重ね型になれる。(筆者要約)」と述べ²¹⁾，また卞覚非は「収集した例の中には偏正式の二音節形容詞は見あたらない。」と述べ，“可爱、可气、可笑、可憎、可欺”などをなれない例に挙げている。²²⁾

⑳ 快当：〈八〉はなし，〈光〉は可，〈李〉は不可，3人のIFは不一致とまったく判定がわかれている。『浩然選集』に用例あり。

㉑ 凉爽：〈八〉〈李〉〈光〉ともに不可だが，IF 2人は可。『浩然選集』に用例あり。⑫で述べたように〈湯〉は判定がわかれる例に挙げている。

㉒ 伶俐：〈八〉〈李〉は可だが，〈光〉は不可，IFは3人とも不一致。〈湯〉は⑫と同じ。

㉓ 麻烦：〈光〉〈李〉は可だが，IFは3人とも不可。

㉔ 明亮：〈八〉〈李〉は可。〈光〉とIF 2人は不可。『浩然選集』に用例あり。

㉕ 排场：〈李〉のみが可で，あとはすべて不可。“排场”の語構成の方式は動賓型であると考えられるが，このタイプは総じて重ね型になりにくい。例えば湯廷池もそう述べているし²³⁾，卞覚非も“含糊、含混”などのようにたまたま重ね型になれるものもあるが，数は少なく，多くは重ね型になれない。」と述べている。²⁴⁾ 李大忠は重ね型になれるもの300語のうち，7語が動賓型であるとしているが，“排场”はその中に含まれるのだろうか。また李大忠が動賓型と考える7語について“安分、含糊、含混、排场、认真、随便”の6語はそうであろうと思われるが，残りの1語がどれであるのか筆者にはわからない。(湯廷池は“拘谨”を動賓型とし，例外的に重ね型になれると言うが²⁵⁾，李大忠は“拘谨”は重ね型になれないと判定している)

㉖ 轻巧：〈八〉はなし，〈李〉は不可。あとはすべて可。小楮『客中客』に用例あり。

⑳ 神気、舒畅：ともに〈光〉のみ可。〈李〉は不可、IFは2人が不可、1人が？。

㉑ 松懈：〈八〉はなし、〈李〉は不可、〈光〉は可、IFは2人が可で、1人が不可のように判定がわかれた。張潔『七巧板』に用例あり。

㉒ 稳重：〈八〉〈李〉は可だが、〈光〉は不可。IFは2人が不可で、1人が？。

㉓ 细致：〈光〉は可だが、〈李〉は不可。IFは2人が不可で、1人が？。『浩然選集』に用例あり。

㉔ 新鮮：〈李〉のみが可、IFの1人が？としたのを除いてあとはすべて不可。その後数人の中国人の方に聞いてみたが、許容度は低いようだ。

㉕ 拥挤：〈八〉はなし、〈李〉は不可、〈光〉は可。IFは3人とも不一致。『浩然選集』に用例あり。

㉖ 圓滑、圓全：ともに〈李〉のみが可。その後の調査でも許容度は低いようだ。

㉗ 匀实：〈八〉はなし、〈李〉は不可。だが〈光〉は可、IFは3人とも可。

㉘ 真正：〈光〉のみが可で、あとはすべて不可。だが『浩然選集』に用例あり。

㉙ 正规：〈八〉はなし、〈李〉〈光〉ともに不可、IFは3人とも？であった。蔣子龍『赤橙黄緑青藍紫』に状語として用いられている例があったが、破格な使い方かもしれない。

㉚ 自然：〈八〉〈李〉は可、〈光〉は不可。IFは3人とも不一致。

なお〈李〉の付録一、二のいずれにも含まれていないが、『現代漢語詞典』に収められていて、しかも形容詞であると考えられるものについても調査を試みたので、〈光〉の判定とともに次に一覧表にして示す（表三）。

右端の a～n は文学作品等に用例があったもので、用例出典は表の下に示してある。

表三

	八	光	李	1	2	3	
憋憋闷闷		+	∅	-	-	-	
慌慌乱乱		+	∅	-	+	?	
拘拘束束		-	∅	-	+	?	a
坎坎坷坷		+	∅	+	+	+	b
宽宽大大		-	∅	+	-	?	
莽莽苍苍		+	∅	+	+	+	c
美美满满		-	∅	+	?	?	d
迷迷离离		-	∅	+	-	?	e
明明显显		-	∅	-	+	-	f
明明确确		-	∅	+	-	+	g

	八	光	李	1	2	3	
恒恒恹恹		+	∅	+	+	+	h
平平展展		+	∅	+	+	+	i
瘦瘦小小		-	∅	+	+	+	j
歪歪斜斜		+	∅	+	+	+	k
香香甜甜		-	∅	?	?	-	l
疑疑惑惑		+	∅	/	/	/	m
蹦蹦跃跃		+	∅	-	-	-	
正正确确		-	∅	-	-	-	n
疏疏落落		+	∅	-	+	+	
仔仔密密		+	∅	+	+	-	

a：『浩然選集』1

b：劉賓雁『告訴你一個秘密』

c：『浩然選集』3

d：『浩然選集』1

e：『浩然選集』1

f：『浩然選集』3

g：『浩然選集』2

h：『浩然選集』1

i：『浩然選集』3

j：『浩然選集』2

k：『浩然選集』3 李國文『花園街五號』

l：『浩然選集』3

m：『浩然選集』1 蔣子龍『赤橙黃綠青藍紫』

n：『浩然選集』1

3 結言

〈八〉の表一にリストアップされていて、AAもしくはAA的に+の記号がついているものは116語である。また『普通話三千常用詞表』に収められている単音節形容詞は143語である。すなわち〈八〉に従えば「常用の」単音節形容詞の80%は重ね型になれることになる。143語のうち〈八〉がリストアップしていないものは“少、偏、横、(斜)、紫、強、弱、迟、浓、滑、(净)、(准)、坏、对、错、假、(熟)、旧、古、怪、贵、贱、差、完、够、(难)、行、温、涩、腥、臊、饿、渴、困、乏、累、晕、疼、痛、痒、忙、闲、慌、壮、丑、破、瞎、瘸、聋、哑、(傻)、笨、(猛)、急、巧、羞、穷”である。これらのうち“浓、疼、痒”と()つきのものを除けば残りはすべておそらく重ね型になれないだろう。これらの形容詞の意味を一つ一つ見てゆけば「外側に現れて五官で識別しやすい属性であればあるほど、その属性を表す単音節形容詞は重ね型になりやすい。一方、主観的判断による属性あるいは事物の外側からは識別または決定しにくい属性であればあるほど、その属性を表す形容詞は重ね型になりにくいかまたは重ね型になれない。」という湯廷池の主張は正しいことがわかる。²⁶⁾ この結論を受け継いでなぜなのかを考察するのが今後の課題の一つであるが、このことは形容詞の重ね型の表す意味の解明と不可分ではありえない。単音節形容詞について言えば、2.1で取り上げたものについてより精密で詳細な調査がなされれば、重ね型の可不可のほぼ完全な記述をすることはそう困難なことではないと思われる。但し調査は香港や日本ではなく、やはり北京で行われなければならない。この問題についてはインフォーマントの語感がなににもまして大切である。

二音節形容詞については、どの語構成のものが重ね型になりやすいかは湯廷池、卞覚非、守屋らによって一部を除きほぼ明らかにされていると言ってよい。しかし一つ一つの形容詞に〈光〉のように(量)をつけるつけないの判断をするとなると、それは2.2で指摘したようにそう容易なことではないのである。李

大忠の報告は“我们向许多人作了调查询问，其中有语言学家、教师、学生和不同文化水平的同志。”と述べられているように、われわれには及ばぬ調査の結果であり、しかも中国本土（おそらくは北京）で行われた調査であるにもかかわらず、疑問点が少なくないところにこの問題の解決の難しさが現れていると思われる。上述したように、李大忠が誤用の代表のように挙げている“复复杂杂”，“生生动动”もまったく問題なく言えるとする北京出身の中国人もいるのであるから。

中国語の形容詞は呉之翰（＝呂叔湘），朱德熙らの先駆的かつ総合的な研究によってほぼその性質が明らかにされたかに見えるが、重ね型についてはまだ解明されなければならない問題がいくつも残されているのである。

注

- 1) 『基礎漢語課本』第3冊 224頁
- 2) 『实用漢語課本』第2冊 227-278頁
- 3) 『語法講義』26-28頁，73-75頁，104頁，134頁
- 4) 『实用現代漢語語法』126-127頁
- 5) さらに目的語にもなれる。郭志良（1987），守屋（1989）を参照
- 6) 湯廷池（1982），李大忠（1984），卞覺非（1988）を参照
- 7) 『現代漢語八百詞』巻末の「形容詞生動形式表」
- 8) Li & Thompson (1981) p. 33
- 9) 湯廷池 37頁
- 10) 湯廷池 41-42頁
- 11) 湯廷池 42頁
- 12) 湯廷池 43頁 “傻”の他に“呆、怪、邪、凶、狠”が同類として挙げられている。
- 13) 郭志良 64頁
- 14) 湯廷池 48頁
- 15) ただし文革期に多用されたもので、現在はほとんど用いないと言う。
- 16) 郭志良 64頁
- 17) 劉大為（1979）98頁
- 18) 湯廷池 56頁
- 19) 卞覺非 119頁

- 20) 湯廷池 46頁
- 21) 湯廷池 48頁
- 22) 卞覺非 119頁
- 23) 湯廷池 45-46頁
- 24) 卞覺非 119頁
- 25) 湯廷池 46頁
- 26) 湯廷池 43頁

主要参考文献

- 北京语言学院编 (1980) 《基础汉语课本》第3册, 中国外文出版社。
- 北京语言学院编著 (1981) 《实用汉语课本》第2册, 商务印书馆。
- 朱德熙 (1956) 〈现代汉语形容词研究〉《语言研究》1956.1, pp. 83-111, 科学出版社。
- (1982) 《语法讲义》, 商务印书馆。
- 刘月华等 (1983) 《实用现代汉语语法》, 外语教学与研究出版社。
- 郭志良 (1987) 〈有关“AA BB”重叠式的几个问题〉《语言教学与研究》1987.2, pp. 60-70, 北京语言学院。
- 守屋宏則 (1989) 「中国語の二音節形容詞の重ね型」『吉沢典男教授追悼論文集』, pp. 405-416, 同論文集編集委員会。
- 湯廷池 (1982) 「國語形容詞の重叠規律」『漢語詞法句法論集』(1988), pp. 29-57, 台湾学生書局。
- 李大忠 (1984) 〈不能重叠的双音节形容词〉《语法研究和探索》2, pp. 207-223, 北京大学出版社。
- 卞觉非 (1988) 〈A A B B 重叠式数题〉《语言研究集刊》第2辑, pp. 109-121, 江苏教育出版社。
- 吕叔湘 (主编) (1980) 《现代汉语八百词》, 商务印书馆。
- Li, Charles N. and Thompson, Sandra A. (1981), *Mandarin Chinese*, 文鶴出版。
- 刘大为 (1979) 〈试论双音词的重迭〉《上海师范大学学报》1979.1, pp. 96-100, 上海师范大学。